

市立芦屋病院

令和4年度上半期の取組

- 資料5 令和4年度上半期の進捗状況
- 資料6 令和4年度上半期の主な取組
- 資料7 令和4年度上半期の収支状況
- 資料8 施設基準届出一覧
- 資料9 講座等活動実績

市立芦屋病院 経営強化プラン進捗状況

1 経営指標に係る数値目標に関すること

項目	単位	3年度			4年度								備考
		上半期実績(A)	下半期実績(B)	年間実績(C)	年間目標(D)	上半期実績(E)	下半期実績(F)	年間実績(G)	前年上半期との差E-A	前年上半期との比率E/A	目標到達差E-D	目標達成率	
(1) 経常収支比率	%	107.8	105.7	105.8	96.8	105.9			△ 1.9	98.2	9.1	109.4	($(\text{医業収益} + \text{医業外収益}) / (\text{医業費用} + \text{医業外費用}) \times 100$)
(2) 医業収支比率	%	96.5	82.7	90.5	92.7	94.1			△ 2.4	97.5	1.4	101.5	($\text{医業収益} / \text{医業費用} \times 100$)
(3) 修正医業収支比率	%	90.9	77.9	85.3	87.8	88.7			△ 2.2	97.6	0.9	101.0	($\text{修正医業収益} / \text{医業費用} \times 100$ 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの)
(4) 入院単価	円	53,185	54,061	53,622	53,000	55,482			2,297	104.3	2,482	104.7	
(5) 外来単価	円	16,895	16,330	16,594	17,000	16,044			△ 851	95.0	△ 956	94.4	
(6) 病床稼働率	%	76.3	77.0	76.6	86.4	73.0			△ 3.3	95.7	△ 13.4	84.5	24時現在病院に在院中の延患者数に退院患者数を加えた数を年間病床数で除した数
(7) 病床利用率	%	71.4	72.0	71.7	80.5	68.3			△ 3.1	95.7	△ 12.2	84.8	24時現在病院に在院中の延患者数を年間病床数で除した数
(8) 1日入院患者数	人	151.9	153.2	152.5	172.0	145.3			△ 6.6	95.7	△ 26.7	84.5	
(9) 1日外来患者数	人	292.8	322.7	307.6	300.0	316.1			23.3	108.0	16.1	105.4	
(10) 人件費比率 ※ ()内は対修正医業収益比率	%	56.0 (59.5)	74.4 (78.9)	65.7 (69.8)	63.3 (66.9)	57.4 (61.0)			1.4 (1.5)	102.5 (102.5)	5.9 (5.9)	109.3 (108.8)	($\text{給与費} / \text{医業収益} \times 100$) ($\text{給与費} / \text{修正医業収益} \times 100$) 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの
(11) 人件費比率(委託料込) ※ ()内は対修正医業収益比率	%	66.2 (70.3)	83.7 (88.8)	74.6 (79.3)	71.3 (75.8)	66.9 (71.0)			0.7 (0.7)	101.1 (101.0)	4.4 (4.8)	106.2 (106.3)	($\text{給与費} + \text{人的委託料} / \text{医業収益} \times 100$) ($\text{給与費} + \text{人的委託料} / \text{修正医業収益} \times 100$) 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの
(12) 材料費比率 ※ ()内は対修正医業収益比率	%	20.6 (21.9)	19.9 (21.1)	19.3 (20.5)	19.6 (20.7)	21.8 (23.2)			1.2 (1.3)	105.8 (105.9)	△ 2.2 (△ 2.5)	88.8 (87.9)	($\text{材料費} / \text{医業収益} \times 100$) ($\text{材料費} / \text{修正医業収益} \times 100$) 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの
(13) 医師数	人	35	37	37	40	35			0	100.0	△ 5	87.5	上半期実績は9月末時点、下半期及び年間実績は3月末時点の数値である
(14) 看護師数	人	150	149	149	155	158			8	105.3	3	101.9	

(1) 経常収支比率 ～ (3) 修正医業収支比率、(10) 人件費比率 ～ (12) 材料費比率の目標数値及び上半期・下半期の実績値は税込で算出。

(10) 人件費比率、(11) 人件費比率(委託料込)、(12) 材料費比率は実績値が目標値より少ない方が良い指標である。

【上半期の状況】

- (1) 経常損益は、152,873千円の経常利益となり、経常収支比率は105.9%で目標達成となった。前年度上半期と比較すると、1.9ポイントの低下となる。
これは、経常収益は20,028千円増加したものの、経常費用において、医師や看護師等の職員数増加により給与費が36,843千円、新型コロナウイルス感染症の抗ウイルス薬が、前年度の10月より保険適用となったため、31,508千円増加したことにより、経常費用が66,056千円増加したことが要因である。
- (2) 医業収支は、151,770千円の医業損失となり、医業収支比率は94.1%で目標達成となった。前年度上半期と比較すると、2.4ポイントの低下となる。
これは、医業収益は2,662千円増加したものの、給与費や材料費等の増加により医業費用が67,940千円増加したことが要因である。
- (3) 他会計負担金を除く医業収支は、291,436千円の医業損失となり、修正医業収支比率は88.7%で目標達成となった。前年度上半期と比較すると2.2ポイントの低下となる。
これは、医業収益(他会計負担金を除く)は4,592千円増加したものの、給与費や材料費等の増加により医業費用が67,940千円増加したことが要因である。
- (4) 入院単価は、前年度上半期と比較すると2,297円の増加となった。産婦人科において診療単価の高い良性腫瘍等の腹腔鏡手術が増加したことに加え、新型コロナウイルス感染症患者に対する抗ウイルス薬の投与数が増加したことが主な要因である。
(新型コロナウイルス感染症については、診療報酬上の特例的な対応が認められていることから、比較的診療単価の高い疾患に該当する)
- (5) 外来単価は、前年度上半期と比較すると851円の減少となった。外科において、胃がんや食道がん患者に対する化学療法が増加したものの、血液・腫瘍内科において血液疾患の悪性腫瘍患者に対する化学療法が減少したことが主な要因である。
- (6) (7) 病床稼働率(病床利用率)は、前年度上半期と比較すると3.3(3.1)ポイントの減少となった。令和3年2月より新型コロナウイルス感染症患者受入のため、一病棟を新型コロナウイルス感染症専用病棟として運用しており、一部病床を空床で運用していることや、糖尿病内科において医師数の減少に伴い患者数が減少したことが要因である。
- (8) 1日入院患者数は、前年度上半期と比較すると6.6人の減少となった。消化器内科において医師数の増加に伴い患者数は増加したが、令和4年度も引き続き一病棟を新型コロナウイルス感染症専用病棟として運用しており、一部病床を空床で運用していることや、糖尿病内科において医師数の減少に伴い患者数が減少したことが要因である。
- (9) 1日外来患者数は、前年度上半期と比較すると23.3人の増加となった。整形外科において、医師数の増加による外来診療枠拡大に伴い、受入患者数が増加したことが主な要因である。
- (10) 人件費比率は、前年度上半期と比較すると1.4ポイント上昇したが、目標達成となった。
医業収益は2,662千円増加したものの、医師や看護師等の職員数増加により給与費が36,843千円増加したことが要因である。
- (11) 人件費比率(委託料込)は、前年度上半期と比較すると0.7ポイント上昇したが、目標達成となった。
委託料において新型コロナワクチン接種にかかる受付等業務委託が10,532千円減少したものの、職員数の増加により給与費が36,843千円増加したことが要因である。
- (12) 材料費比率は、前年度上半期と比較すると1.2ポイント上昇し、目標未達成となった。
医業収益は2,662千円増加したものの、材料費において、新型コロナウイルス感染症の抗ウイルス薬が、前年度の10月より保険適用となったことにより、31,508千円増加したことが要因である。
- (13) 医師数は、令和3年度上半期以降8名採用したものの、令和3年度末に4名退職、令和4年度途中で4名退職しており、増員の確保もできなかったため、目標未達成となった。
しかしながら、令和4年度途中の退職者のうち1名はフルタイム会計年度任用職員として新たに任用しており、下半期に向けて緩和ケア内科医師を2名新規採用予定である。
- (14) 看護師数は、令和3年度上半期以降10名退職したが、令和3年度下半期に2名採用、令和4年度上半期に16名採用しており、目標達成となった。

市立芦屋病院 経営強化プラン進捗状況

2 診療機能並びに質向上に係る数値目標に関すること

項目	単位	3年度			4年度								備考
		上半期実績(A)	下半期実績(B)	年間実績(C)	年間目標(D)	上半期実績(E)	下半期実績(F)	年間実績(G)	前年上半期との差E-A	前年上半期との比率E/A	目標到達差E-D	目標達成率	
(1) 人間ドック件数	件	531	619	1,150	1,200 (600)	635			104	119.6	635	105.8	
(2) 救急受入患者数	件	2,318	2,195	4,513	4,700 (2,350)	2,601			283	112.2	2,601	110.7	
(3) 救急搬送応需率	%	84.7	79.5	82.1	90.0	72.3			△ 12.4	85.4	△ 17.7	80.3	
(4) 手術件数	件	1,048	1,273	2,321	3,000 (1,500)	1,223			175	116.7	1,223	81.5	
(5) リハビリテーション件数	件	19,112	17,771	36,883	42,480 (21,240)	18,617			△ 495	97.4	18,617	87.7	
(6) 紹介率	%	44.3	44.5	44.4	50.0	39.4			△ 4.9	88.9	△ 10.6	78.8	
(7) 逆紹介率	%	79.9	82.2	81.1	70.0	74.8			△ 5.1	93.6	4.8	106.9	
(8) 在宅復帰率	%	95.0	95.9	95.9	90.0	95.5			0.5	100.5	5.5	106.1	
(9) 退院支援介入率	%	31.7	33.9	32.8	35.0	37.5			5.8	118.3	2.5	107.1	
(10) クリティカルパス適用率	%	49.6	54.7	52.2	50.0	57.4			7.8	115.7	7.4	114.8	
(11) 患者満足度(外来)	%		99.0	99.0	98.0	下半期に実施							
患者満足度(入院)	%		99.0	99.0	98.0	下半期に実施							
(12) 臨床研修医数	人	10	10	10	12	10			0	100.0	△ 2	83.3	上半期実績は9月末時点、下半期及び年間実績は3月末時点の数値である
(13) 専門・認定看護師	人	13	13	13	14	13			0	100.0	△ 1	92.9	
(14) 後発医薬品使用率	%	94.0	94.5	94.3	90.0	93.7			△ 0.3	99.7	3.7	104.1	薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量で算出している

(1) 人間ドック、(2) 救急患者数、(4) 手術件数、(5) リハビリテーション件数の目標到達差及び目標達成率については当該目標数値の1/2を目標数値として計算。()内の数値が半期の目標値

【上半期の状況】

- (1) 人間ドック件数は、前年度上半期と比較すると104件増加し、目標を達成した。受診者の安心・安全を第一に考慮し、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだことや、多様な要望に対応できるように人間ドックのオプション検査を充実させたことが要因である。
- (2) 救急受入患者数は、前年度上半期と比較すると283人増加し、目標を達成した。「断らない救急」の継続した取組及び診療時間外の検査実施などにより、内科及び小児科患者の受入れが増加したことが要因である。
- (3) 救急搬送応需率は、前年度上半期と比較すると12.4ポイント低下し、目標未達成となった。救急搬送要請件数は増加したが、院内の感染防止対策により、一時的に新規の入院受入れを制限したことが要因である。
- (4) 手術件数は、前年度上半期と比較すると175件増加したが、目標未達成となった。消化器内科における大腸内視鏡手術、産婦人科における腹腔鏡手術、整形外科における骨折等の手術、眼科における白内障手術は増加したが、外科医師の退職に伴い、外科の手術件数は減少した。
- (5) リハビリテーション件数は、前年度上半期と比較すると495件減少し、目標未達成となった。整形外科の患者数増加に伴い運動器リハビリテーションは増加したものの、脳神経内科及び糖尿病内科における医師数の減少により、脳血管疾患等リハビリテーション、呼吸器リハビリテーションが減少したことが要因である。
- (6) 紹介率は、前年度上半期と比較すると4.9ポイント低下し、目標未達成となった。開業医等からの紹介件数は大幅に減少しなかったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、帰国者・接触者外来へ紹介状を持たずに来院する初診患者が増加したことが主な要因である。
- (7) 逆紹介率は、前年度上半期と比較すると5.1ポイント低下したが、目標を達成した。連携登録医療機関を中心とした情報の発信・収集、近隣開業医を紹介する「かかりつけ医カード」の活用、返書チェックの強化、診療情報提供料の適正な算定に積極的に取り組んだことが要因である。
- (8) 在宅復帰率は、前年度上半期と比較すると0.5ポイント上昇し、目標を達成した。目標の90%並びに急性期一般入院基本料1の要件である80%を達成している。一般病棟からの退院患者の95.5%が自宅及び特別養護老人ホームなどの居住系介護施設へ退院しており、在宅復帰率の計算上対象外となる一般病棟等への転院は少数であった。入退院支援センターや地域連携室において入院早期から退院困難な患者を抽出し、退院支援を実施するなど退院調整に取り組んでいることが要因である。
- (9) 退院支援介入率は、前年度上半期と比較すると5.8ポイント上昇し、目標を達成した。退院患者数は大幅に減少しなかったものの、退院支援を必要とする患者数は前年度上半期より78人増加した。ケアマネジャーとの連携による介入や、在宅医、施設探しが主な支援内容である。
- (10) クリティカルパス適用率は、前年度上半期と比較すると7.8ポイント上昇し、目標を達成した。新型コロナウイルス感染症患者に対するパス適用により、消化器内科のクリティカルパス適用件数が増加したことが要因である。
- (11) 患者満足度調査は下半期に実施。
- (12) 臨床研修医数は、初期研修医（一年目）が4名確保できたものの、後期研修医の増員確保ができなかったため、初期研修医が7名、後期研修医が3名の合計10名となった。前年度上半期と増減は無く、目標未達成となった。
- (13) 認定看護師の増員及び退職が無かった為、人数は変わらず、目標を達成した。
- (14) 後発医薬品使用率は、前年度上半期と比較すると0.3ポイント低下したが、目標を達成した。薬事委員会において、対象医薬品の抽出等を実施し、後発医薬品への転換を継続的に取り組んでいることが要因である。

【令和4年度上半期の主な取組】

I 当院の目指すべき方向

取組項目	計画本文	取組内容・効果等
3 役割・機能の最適化と連携の強化 (3) 機能分化・連携強化への取組 (P.6)	「h-Anshin むこねっと」に参加し、逆紹介の推進及び各種連携パスへの参加など地域医療の効率化を目指す。なお、当院は神戸圏域とも隣接しており、当院独自のITネットワークである「芦っこメディカルリンク」を活用し、患者の診療情報を共有するなど連携強化を図る。 (※計画本文一部割愛)	<ul style="list-style-type: none"> 患者の逆紹介時等に積極的に「h-Anshin むこねっとシステム」、「芦っこメディカルリンク」を活用し、連携強化を図った。 h-Anshin むこねっとシステム利用件数 R4 上半期 86 件（前年度上半期比 10 件増加） 芦っこメディカルリンク利用件数 R4 上半期 31 件（前年度上半期比 10 件増加）

II 市民に提供する診療機能並びに質向上への取組

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項1】 がん対策の強化 (P.10)	①がん医療の充実 ・手術、化学療法、放射線治療（他の医療機関との連携による）、緩和ケアを効果的に組み合わせた集学的な治療を提供するとともに、患者のQOL向上を目指した総合的な医療とケアを提供する。 ・診療体制の充実を図るため、腫瘍内科医、呼吸器内科医の増員に取り組む。 ・当院の特色でもあるサポーターズケアチーム ¹ の早期介入により、化学療法における副作用や痛みなどの症状緩和、家族ケア、意思決定支援、緩和ケア病棟へのスムーズな移行等を行い、患者・家族が安心して治療が受けられるよう取り組む。 (※計画本文一部割愛)	<ul style="list-style-type: none"> 入院化学療法症例件数 R4 上半期 117 件（前年度上半期比 48 件減少） 外来化学療法件数 R4 上半期 420 件（前年度上半期比 35 件増加） がん症例手術数 R4 上半期 40 件（前年度上半期比 5 件減少） 開院 70 周年、緩和ケア病棟開設 10 周年の企画として「グリーンケアを考える会」を開催。当院の緩和ケア病棟で亡くなられた患者家族等を対象にオンライン形式で実施（YouTube で視聴）し、講演会、音楽療法士等によるコンサートを行った。
	②各種検診業務の拡充 ・疾病の早期発見、早期治療を促	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドック、各種がん検診 人間ドック R4 上半期 635 件（前年度上半期比

¹ がん患者、心不全患者、慢性疼痛患者の疼痛ケアに取り組むチーム医療。医師、看護師、薬剤師、公認心理師等により構成される

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
<p>1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項1】 がん対策の強化 (P.10)</p>	<p>進するため、人間ドック、各種がん検診、特定健診、生活習慣病予防検診の受診者数増加に向けて取り組む。特に人間ドックはオプション検査やコースの充実を図るとともに、検査枠を増加することで、受診者数の増加を図る。 ・地域住民を対象とした「あしや健康フォーラム」や「ホスピタルフェスタ」、公開講座などを定期的に開催し、疾病予防の啓発活動に積極的に貢献する。</p>	<p>104 件増加) 各種がん検診 R4 上半期 3,871 件（前年度上半期比 620 件増加）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間ドックの新規オプション検査（鎮静下による上部内視鏡検査、大腸内視鏡検査等）を追加 CATV 用に人間ドックをテーマとした広報番組を撮影（放映時期は 10 月後半）
<p>1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項2】 救急医療の更なる充実 (P.11)</p>	<p>①救急医療体制の強化 引き続き内科二次救急体制、外科系救急体制を 24 時間 365 日堅持し、小児救急体制及び消化器内視鏡救急体制を継続する。また、これまで以上に救急隊や地域の医療機関からの緊急診療要請に対応できるよう、救急専従医師の配置を行うとともに、救急医療に携わる人材の確保・育成に努める。今後も安定した救急医療体制を提供することで、地域住民の安心及び安全を守り、地域の中核病院としての役割を果たす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 救急患者数 R4 上半期 2,601 件（前年度上半期比 283 件増加） 「断らない救急」の継続した取組、診療時間外の検査実施により内科・小児科患者の受入れが増加した。
<p>1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項3】 外科系診療の充実 (P.11)</p>	<p>①外科系手術の拡充 救急受入れの強化、各種検診の取組強化により外科系疾患の患者を積極的に受け入れし、手術件数の増加を目指す。また、効率的な手術室稼働が出来るよう麻酔科医や手術室等のスタッフの充実を図り、外科系手術の増加を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R4 上半期 1,223 件（前年度上半期比 175 件増加） 呼吸器外科医師の増員（1 名） 産婦人科医師の増員（1 名） 術後疼痛管理チーム²の発足 術後患者へ質の高い疼痛管理を提供するためチームが回診し、術前からの痛みに対する不安軽減、術後の苦痛軽減を実施。

² 術後患者に対する質の高い疼痛管理を提供するため麻酔科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士等で構成されたチーム。全身麻酔後の患者へ術後疼痛管理を行うことで手術翌日から 3 日間まで術後疼痛管理チーム加算の算定が可能。

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
<p>1 市民に提供する診療機能の充実</p> <p>【取組事項4】</p> <p>超高齢社会への対応 (P. 12)</p>	<p>②リハビリテーションの拡充</p> <p>理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士の増員を図り、総合的なリハビリテーションのさらなる提供に努める。特に脳血管疾患、神経疾患、認知症に対する外来リハビリテーションを強化するとともに、高齢者フレイル外来や脳疾患予防外来、学習支援外来等への取組を継続する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士2名、言語聴覚士1名を確保（採用時期は下半期）
<p>1 市民に提供する診療機能の充実</p> <p>【取組事項5】</p> <p>新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 (P. 13)</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症への対応</p> <p>芦屋市、芦屋健康福祉事務所（芦屋保健所）、芦屋市医師会等の関係医療機関と連携を図りながら、外来診療、陽性患者の入院診療、リスクの高い患者へのワクチン接種などに積極的に取り組み、公立病院としての役割を果たす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R4 上半期の患者数 疑い患者数 764人 PCR 検査件数 763件 陽性患者数 524人 入院延べ患者数（※陽性者） 982人日 小児のコロナ診療の維持 小児の新型コロナウイルス感染症患者の診療については、これまで常勤医師2名で対応を行っていたが、受診者数の増加に対応するため、非常勤医師も含めて体制の整備を図った。 R4 上半期の帰国者接触者外来受診者数（小児科）は107人（前年度上半期より84人増加）
	<p>②地域単位での感染症対策の強化</p> <p>当院は地域の感染症対策を担う基幹的な医療機関として、芦屋健康福祉事務所、芦屋市医師会、近隣の病院、診療所と互いに連携を図るとともに、合同カンファレンス（新興感染症等の発生を想定した訓練を含む）の定期開催や連携病院への院内感染対策に関する助言を行うなど、地域の感染症対策の強化、推進に取り組む。 （※計画本文一部割愛）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策向上加算¹³の取得及び地域の基幹的な感染対策の取り組み 芦屋健康福祉事務所、芦屋市医師会、地域の病院、クリニックと連携を図り合同カンファレンスの定期開催、感染対策に関する助言等を実施し、地域の感染症対策の中心的役割を担う病院としての活動を実施。

³ 地域単位での感染対策のさらなる充実を目的に設けられた加算（従前の感染防止対策加算を見直し創設）。地域の他医療機関と連携し、地域の基幹的な感染対策の役割を果たす医療機関を評価し、入院初日に限り算定可能

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
<p>2 地域医療への貢献 (P. 15～P. 16)</p>	<p>(2) 地域包括ケアシステム推進への貢献</p> <p>患者が安心して住み慣れた地域で療養できるよう、入院初期の段階から積極的に退院支援を行うとともに、患者の状況に応じた支援を行っていく。特に在宅復帰を目指す患者が在宅へ円滑に移行できるよう、地域のかかりつけ医、介護老健施設、地域包括支援センター等との連携強化を進めるとともに、退院前カンファレンスを積極的に実施する。</p> <p>今後も市の地域包括ケアシステムを推進し、患者に寄り添ったきめ細やかな対応ができるよう、地域連携室には退院支援に精通した看護師、社会福祉士を配置するとともに、入退院支援センターの拡充にも取り組むなど、地域の中核病院として積極的に役割を担っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「入退院支援センター⁴」における予定入院患者に対する介入支援 外科 R4 上半期 91.2% (前年度上半期比 8.2 ポイント上昇) 婦人科 R4 上半期 100% (前年度上半期比 3.0 ポイント上昇) 地域連携室において入院早期より退院困難な患者の抽出を実施。R4 上半期は全退院患者の 37.5%に介入支援を行った。転帰先は概ね在宅、施設への再入所であり、在宅医療を担う開業医や訪問看護師、ケアマネジャーとの連携に引き続き努めた。 在宅復帰率は 95.5%であり、目標値の 90%及び急性期一般入院基本料 1 の要件 80%を達成した。
	<p>(4) 市民への医療情報の提供・発信</p> <p>① 当院の役割や機能、特色、治療方針、経営状況等について、広く市民の理解が得られるよう、広報誌やホームページ、SNS、ケーブルテレビ等の多様な媒体を活用した積極的な広報に努める。また、市民がわかりやすい広報誌や病院パンフレットの改善を図るとともに、ホームページの充実に取り組む。</p> <p>② 最新の医療情報や新たな治療法について、地域住民を対象とした公開講座やセミナー等を開催し、医療に関する知識の啓発に努める。(※計画本文一部割愛)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民向け広報誌「Hope Plus」等の定期的な広報物の発行を実施。 ・ 公開講座の再開 R4 年 2 月より公開講座 (院外で実施) を再開 R4 上半期 5 回開催、参加人数 150 人 ・ 糖尿病教室 院内で集合形式の教室が開催できないため、「ねっと版糖尿病教室」と題して、当院のホームページ上へ資料を掲載し情報発信を行った。 ・ あしや健康フォーラムは中止

⁴ 入院を予定している患者が入院生活や入院後にどのような治療経過を経るのかをイメージし、安心して入院医療を受けられるよう、入院中に行われる治療の説明、入院生活に関するオリエンテーション、服薬中の薬の確認、褥瘡・栄養スクリーニング等を、入院前の外来において実施し、支援を行う部門として設置

Ⅲ 業務運営効率化への取組

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
<p>2 優れた専門職の確保と人材育成、並びに働き方改革への取組</p> <p>(1) 医師、看護師の確保について</p> <p>(P. 19)</p>	<p>①医師確保と働き方改革について</p> <p>②看護師確保と働き方改革について</p> <p>(※計画本文割愛)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呼吸器外科医師 1名増員 (4月) ・ 産婦人科医師 1名増員 (4月) ・ 精神科医師 1名増員 (7月) ・ 緩和ケア内科医師を2名確保 (採用時期は下半期) ・ R4.3月末時点より看護師5名増員 ・ 視能訓練士、臨床検査技師を1名ずつ増員 ・ 放射線技師を1名採用 (欠員補充) ・ 作業療法士2名、言語聴覚士1名を確保 (採用時期は下半期) (再掲) ・ 臨床工学技士によるスコーピスト業務⁵を7月より開始。また、造影剤検査のための静脈路確保⁶の研修へ放射線技師が参加するなど医師のタスクシフト・シェアをすすめる。

⁵ 医師の働き方改革の推進に係る議論を踏まえ、法令改正により臨床工学技士の新たな業務範囲として追加された業務で、手術室での鏡視下手術野における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための内視鏡用ビデオカメラの操作のこと

⁶ 医師の働き方改革の推進に係る議論を踏まえ、法令改正により放射線技師の新たな業務範囲として追加された業務で、造影剤を使用した検査のために静脈路を確保する行為のこと (従来は医師・看護師のみが対応可能な手技)

令和4年度上半期の収支状況

(単位 千円)

項 目		3 年 度		4 年 度		対前年度上半期 決算増減率(%)	
		予算	上期決算(税込)	予算	上期決算(税込)		
収	医 業 収 益	4,926,782	2,415,400	5,283,053	2,418,062	100.1	
	入院収益	3,036,184	1,478,555	3,327,340	1,475,323	99.8	
	外来収益	1,238,688	603,513	1,239,300	623,855	103.4	
	室料差額収益	188,535	99,770	267,653	100,632	100.9	
	一般会計負担金	283,191	141,596	279,331	139,666	98.6	
	その他医業収益	180,184	91,966	169,429	78,586	85.5	
益	医 業 外 収 益	1,079,116	329,949	380,218	347,315	105.3	
	一般会計負担金補助金	296,185	148,092	291,442	145,721	98.4	
	その他医業外収益	782,931	181,857	88,776	201,594	110.9	
	特 別 利 益	1,000	0	1,000	10,215	皆増	
	収 益 合 計	6,006,898	2,745,349	5,664,271	2,775,592	101.1	
費	医 業 費 用	5,614,766	2,501,892	5,698,494	2,569,832	102.7	
	給 与 費	3,219,271	1,351,873	3,346,082	1,388,716	102.7	
	材 料 費	1,027,017	496,837	1,034,781	528,345	106.3	
	委 託 料	669,282	324,696	623,306	314,432	96.8	
	減価償却費	410,928	205,465	405,579	202,790	98.7	
	その他医業費用	288,268	123,021	288,746	135,549	110.2	
	医 業 外 費 用	157,418	44,556	154,609	42,672	95.8	
	支払利息	86,947	43,478	83,178	41,664	95.8	
	その他医業外費用	70,471	1,078	71,431	1,008	93.5	
		特 別 損 失	151,068	25,442	30,000	31,301	123.0
		予 備 費	30,000	0	30,000	0	0.0
	費 用 合 計	5,953,252	2,571,890	5,913,103	2,643,805	102.8	
	純 損 益	53,646	173,459	△ 248,832	131,787		

医業損益	△ 687,984	△ 86,492	△ 415,441	△ 151,770
医業収支比率	87.7	96.5	92.7	94.1
修正医業損益	△ 971,175	△ 228,088	△ 694,772	△ 291,436
修正医業収支比率	82.7	90.9	87.8	88.7
経常損益	233,714	198,901	△ 189,832	152,873
経常収支比率	104.0	107.8	96.8	105.9

※医業損益：医業収益－医業費用

※医業収支比率：(医業収益／医業費用)×100

※修正医業損益：(医業収益－一般会計負担金)－医業費用

※修正医業収支比率：((医業収益－一般会計負担金)／医業費用)×100

※経常損益：(医業収益＋医業外収益)－(医業費用＋医業外費用)

※経常収支比率：((医業収益＋医業外収益)÷(医業費用＋医業外費用))×100

基本診療料		
名称	届出日	備考
一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 1）	平成30年08月	
臨床研修病院入院診療加算 1（基幹型）	平成16年07月	
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	平成22年04月	
情報通信機器を用いた診療（初診料・再診料）	令和 4年04月	新規取得
診療録管理体制加算 2	平成29年04月	
医師事務作業補助体制加算 2（20対1）	令和 4年08月	新規取得後区分変更
急性期看護補助体制加算（50対1）	平成26年08月	
療養環境加算	平成27年07月	
重症者等療養環境特別加算	平成26年02月	
無菌治療室管理加算 1・2	平成24年08月	
緩和ケア診療加算	令和 2年02月	
個別栄養食事管理加算	平成30年04月	
精神科リエゾンチーム加算	平成30年09月	
栄養サポートチーム加算	平成24年04月	
医療安全対策加算 1	平成30年04月	
医療安全対策地域連携加算	平成30年04月	
感染対策向上加算 1	令和 4年04月	新規取得
指導強化加算	令和 4年04月	新規取得
患者サポート体制充実加算	平成24年04月	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	令和 1年06月	
呼吸ケアチーム加算	平成26年04月	
後発医薬品使用体制加算1	平成30年04月	
病棟薬剤業務実施加算 1	令和 4年04月	届出直し
データ提出加算 2 ロ	平成24年10月	
入退院支援加算 1	令和 3年04月	
入院時支援加算	平成30年04月	
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年04月	
小児入院医療管理料 5	平成26年12月	
緩和ケア病棟入院料1	平成30年08月	

施設基準 届出一覧

令和4年9月時点

〈削除項目〉

名称	辞退日	備考
オンライン診療料	令和 4年04月	令和4年度改定で情報通信機器を用いた診療に統合
医師事務作業補助体制加算 1 (1.5対1)	令和 4年06月	従事者の施設基準を満たせなくなったため
認知症ケア加算 1	令和 4年04月	従事者の施設基準を満たせなくなったため
感染防止対策加算 1	令和 4年04月	令和4年度改定で感染対策向上加算に統合
感染防止対策地域連携加算	令和 4年04月	令和4年度改定で感染対策向上加算に統合
抗菌薬適正使用支援加算	令和 4年04月	令和4年度改定で感染対策向上加算に統合

特掲診療料		
名称	届出日	備考
糖尿病合併症管理料	平成26年08月	
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年04月	
がん患者指導管理料イ	令和 4年09月	届出直し
がん患者指導管理料ロ	平成26年04月	
がん患者指導管理料ハ	平成28年04月	
がん患者指導管理料ニ	令和 2年05月	
外来緩和ケア管理料	平成29年11月	
糖尿病透析予防指導管理料	平成29年02月	
婦人科特定疾患治療管理料	令和 2年04月	
二次性骨折予防継続管理料 1	令和 4年04月	新規取得
二次性骨折予防継続管理料 3	令和 4年04月	新規取得
夜間休日救急搬送医学管理料	平成24年04月	
院内トリアージ実施料	令和 2年05月	
救急搬送看護体制加算 1	令和 2年04月	
外来腫瘍化学療法診療料	令和 4年04月	新規取得
連携充実加算	令和 4年04月	新規取得
ニコチン依存症管理料	平成29年07月	
開放型病院共同指導料 (Ⅱ)	平成26年07月	
がん治療連携計画策定料	平成27年07月	
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年04月	
薬剤管理指導料	平成22年04月	
地域連携診療計画加算	平成28年04月	
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年04月	
医療機器安全管理料 1	平成22年07月	
在宅患者訪問看護・指導料	平成24年12月	
遠隔モニタリング加算 (在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	令和 3年04月	
持続血糖測定器加算	平成26年04月	
造血器腫瘍遺伝子検査	平成24年11月	
遺伝学的検査	令和 3年03月	
骨髄微少残存病変量測定	令和 2年11月	
B R C A 1 / 2 遺伝子検査	令和 4年06月	届出直し
H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	平成26年04月	

施設基準 届出一覧

令和4年9月時点

特掲診療料		
名称	届出日	備考
検体検査管理加算（Ⅱ）	令和 3年05月	
時間内歩行試験及びビシャトルウォーキングテスト	平成24年09月	
胎児心エコー法	平成22年04月	
皮下連続式グルコース測定	平成26年10月	
小児食物アレルギー負荷検査	平成24年05月	
センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年04月	
画像診断管理加算 2	平成27年01月	
C T撮影及びMR I撮影	平成31年04月	
冠動脈C T撮影加算	平成20年04月	
大腸C T撮影加算	平成24年04月	
心臓MR I撮影加算	平成21年09月	
小児鎮静下MR I撮影加算	平成30年04月	
外来化学療法加算 1	平成20年04月	
連携充実加算	平成 3年05月	
無菌製剤処理料	平成24年07月	
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）	平成 3年05月	
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成26年01月	
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成26年02月	
がん患者リハビリテーション料	平成25年03月	
認知療法・認知行動療法	平成29年11月	
処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年04月	
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 1 を算定する場合に限る。）	平成30年06月	
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 2 を算定する場合に限る。）	平成22年04月	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成10年04月	
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）	令和 4年04月	新規取得
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	令和 4年04月	新規取得
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年04月	
内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4年04月	新規取得
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	平成20年04月	
手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年04月	

特掲診療料		
名称	届出日	備考
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	平成26年04月	
輸血管管理料Ⅱ	平成19年05月	
輸血適正使用加算	平成24年04月	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年09月	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年04月	
麻酔管理料（Ⅰ）	平成30年05月	
保険医療機関間の連携による病理診断	平成26年11月	
保険医療機関間におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	平成23年04月	
保険医療機関間におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	平成23年04月	

講座等活動実績

【市民向け講座等】

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、健康フォーラム、ホスピタルフェスタ、院内コンサートは中止とした。
糖尿病教室は「ねっと版糖尿病教室」としてホームページから療養に関する情報発信を行った。

公開講座

項 目	開催日	開催場所	参加人数
コロナ時代の出口を見据えた糖尿病治療 食事ですこやかに ～糖尿病食はみんなで食べたい健康食！～	4月9日	芦屋市民センター	23名
下肢静脈瘤について	5月14日		52名
中高年者の整形外科疾患について 自宅でする！骨を強くする運動	6月11日		54名
身近に潜む危険生物 ～ダニ媒介リケッチア感染症～	7月9日		21名

その他

項 目	開催日	開催場所
休日がん検診	10月30日	市立芦屋病院

【医療従事者向け講座等（地域医療機関含む）】

医療安全研修会

項 目	開催日	開催場所	参加人数
一般病院における不眠へのアプローチ～せん妄リスク対策を視野に入れて～	9月1日	市立芦屋病院(Web)	80名
融合医学によるサルコペニア、フレイルの対策	10月27日	市立芦屋病院(Web)	88名

院内感染対策研修会

項 目	開催日	開催場所	参加人数
第1回 院内感染対策研修会 ～サル痘についてMonkey pox～	9月15日	市立芦屋病院(Web)	173名

地域連携研修会

項 目	開催日	開催場所
芦屋市3病院地域連携担当者会議	4月26日	市立芦屋病院
阪神地域医療担当者連絡会議（HAMネット）	4月28日	Web(ZOOMシステム)
退院調整ルール芦屋市ワーキング	5月31日	芦屋市福祉センター
兵庫県がん診療連携協議会 幹事会	6月16日	Web(ZOOMシステム)

項 目	開催日	開催場所
兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議	6月17日	Web(ZOOMシステム)
阪神地域医療担当者連絡会議 (HAMネット)	6月22日	Web(ZOOMシステム)
芦屋市多職種ONEチーム	6月29日	芦屋市医師会
西宮脳卒中地域連携パス会議	6月30日	Web(ZOOMシステム)
西宮整形外科地域連携会議	7月7日	Web(ZOOMシステム)
芦屋市要保護児童対策地域協議会	7月13日	芦屋市消防本部
むこねっと情報公開病院担当者連絡会	7月14日	Web(ZOOMシステム)
芦屋市3病院地域連携担当者会議	8月3日	市立芦屋病院
芦屋市訪問看護ステーション連絡会	8月17日	Web(ZOOMシステム)
阪神地域医療担当者連絡会議 (HAMネット)	8月30日	Web(ZOOMシステム)

【各種広報活動】

市立芦屋病院だより 「HOPE plus」

内 容	掲載日
<ul style="list-style-type: none"> ・新病院長ごあいさつ ・新任Dr・新任職員のご紹介 ・血液・腫瘍内科のご紹介 ・がん化学療法のご紹介 	4月1日
<ul style="list-style-type: none"> ・開院70周年を迎えて ・優秀論文賞を受賞いたしました！ ・日本ユネスコ協会連盟から感謝状をいただきました ・市立芦屋病院 70周年の歩み ・外科の紹介 	7月1日

市立芦屋病院 地域連携室だより 「UP TO DATE」

内 容	掲載日
特別号「医師・病棟・コメディカルスタッフ紹介」	10月発行

芦屋市広報番組「あしやトライアングル」(J-COMケーブルテレビ)

内 容	放映日
「人間ドック」で健康を見直しましょう！	10月後半

